

押しボタンダイヤル電話機 による データエントリシステム “HIVORS”-1100



情報をスピーディに伝達し、しかも確実に処理するコンピュータオンラインシステムが、今日情報処理の主役として、目覚ましく普及されつつあるが、更にできるだけ多数の人々が、どこからでも自由に、容易に利用できることが強く望まれ、その効果的な手段として、既存の電話交換網と押しボタンダイヤル電話機を利用するシステムの開発が急速に進められている。

音声応答システムは、このような要求にこたえるためのシステムで、コンピュータと人間の音声による対話を実現し、日常かける電話そのままの感覚でオンラインによる情報を伝達でき、一般の人々にもコンピュータがより身近に、かつ手軽になったといえよう。

“HIVORS”(Hitachi Voice Response System)は日立製作所のコンピュータ技術と通信システム技術とを結集

して開発された音声応答システムで、これを導入すれば、受話器から聞こえてくる音声指示に従って、押しボタンダイヤル電話機のボタン操作を行なうだけでデータを入力できる。また、入力データを復唱確認したのち次の入力指示を行なうので、ミスの防止もできる。

利用分野としては、注文受付、在庫照会、予約受付、連絡業務など多岐にわたるが、パン・洋菓子メーカーとして長い伝統と名声をもつ株式会社神田精養軒では、昭和54年2月1日から、日立音声応答システムによるデータエントリシステムを運用している。

これは、我が国での民間企業として初のシステムである。

このシステムは“HIVORS”-1100とHITAC 8150から構成され、各売店から社員が押しボタンダイヤル電話機で、センターを呼び出し、発注・売上報告

などのデータを入力すると、音声で復唱、及び次の入力指示を行ない、データを収集する。

収集されたデータは、フロッピーディスクにいったん格納された後、まとめてHITAC 8150で処理される。

従来、株式会社神田精養軒では、電話で注文を受け付け、そのデータをパンチしてコンピュータに入力していたが、このシステムの導入により、次に述べるような著しい効果があった。

- (1) 電話受付、パンチャーなどの入力要員の節約
- (2) 正確かつ迅速なデータの収集
- (3) インプット締切時間の延長
- (4) データ量増加に対する容易な対応

“HIVORS”-1100は、主として電話によって業務処理の行なわれている流通部門のデータエントリには、最適の手段として大いに注目されている。

押しボタンダイヤル電話機
(又はプッシュボタン・アタッチメント)

売店

7チャンネル

“HIVORS”-1100
音声応答装置

フロッピー
ディスク

フロッピー
ディスク

HITAC-8150

日本電信電話公社 公衆通信回線網

株式会社神田精養軒 STARSセンター

システム構成図